

日本一のレンコン産地をけん引する 次世代リーダーの育成

県南農林事務所 経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）

土浦地域のレンコン産地では、近年多くの新規就農者が入っているものの、学習や情報交換の機会が少ない現状にあります。そこで、新規就農者を当経営・普及部門で開催している農業学園「レンコン講座」に誘導し、さらに、受講後も修了生を対象にレンコン専門の勉強会を開催しました。その後、平成25年には彼らが中心となった土浦市・かすみがうら市レンコン研究青年組織「れんこん塾」の設立を誘導し、本組織の活動支援を通じて将来の産地リーダーの育成を進めています。

学習機会と仲間作りの場の提供

当経営・普及部門では、農業学園に「レンコン講座」を設けています。本講座はレンコンに関する専門的な学習の機会として受講生からの評価も高く、受講後もこのような機会を継続してほしいとの要望が多く出されていました。

そこで、平成24年度の本講座修了生を対象に、学習機会や仲間作りの場として活用してもらうようレンコン専門の勉強会を開設しました。



展示ほを用いた施肥技術の講座の様子



れんこん塾の会員

れんこん塾の設立

上記勉強会参加者の中から、産地の生産・経営技術に関する課題解決に向けて情報収集をしたり、自主的な研究活動を行いたいといった意欲的な声が上がりました。そこで組織化に向けた話し合いを重ねた結果、平成25年2月、自主活動を通じて生産・経営技術の向上や会員相互の親睦と連携を図り、さらに地域農業の発展を目的とした土浦市・かすみがうら市レンコン研究青年組織「れんこん塾」（19名）が設立されました。

れんこん塾の活動支援

平成25年度は、役員会、定例会や先進地研修の開催を支援するとともに、個別の課題解決活動の取組を促しました。また会員が集まる機会では、活動内容に加えて栽培技術などについての情報交換も活発になされるようになってきています。

平成26年度には新たな学園修了生も加わり、会員は28名となりました。今後も会員の活動を支援し、栽培・経営技術の向上や地域のさらなる発展に貢献できる次世代リーダーの育成を進めます。



定例会の様子